算数科　第５学年　「単位量あたりの大きさ」

育成を目指す資質・能力　【課題発見・解決力】

《本時における学ぶ意欲が高まった児童の具体的な姿》
○単位量あたりの大きさの考え方の有用性に気付き，他教科や日常生活においても単位量あたりの大きさの考え方を使っている場面について考えている。

《本時における統合的な考え方》【拡張】
○既習の単位量あたりの大きさの考えを用いることで，速さを比べられることについて考えさせる。

課題意識・相手意識の高まり

実生活や他教科への広がり

授業のながれ（全 10 時間　第５時）	児童の様子

○つかむ・見通す

Ｉ君は 50mを８秒で走りました。Ｔ先生は 40mを７秒で走りました。どちらが速いか比べ，説明しましょう。

	道のり	時間
Ｉ君	50m	８秒
Ｔ先生	40m	７秒

速さを比べるには道のりと時間の２量が必要になることを捉えるために，条件不足の問題を提示し，課題解決に向けてのきっかけを作り,問題解決の意欲を喚起した。

他教科とのつながり

○体育科に関わる問題を解決したことで，児童が算数科と体育科のつながりを実感し，算数科を学ぶ必要性を感じたことで，児童の学習意欲の高まりが見られた。

○学習課題

速さの比べ方を考え，説明しよう。

他者とのつながり

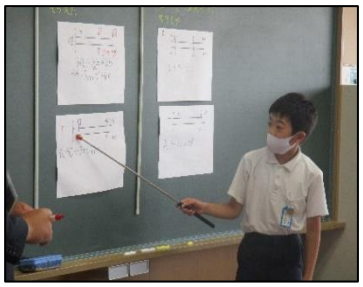
○児童に疑問を共有させることを通して，児童から「めあて」を出させたことにより，意欲的に課題を解決していた。

時間か道のりをそろえれば，今までに習った方法で速さを比べられると思うよ。

単位量あたりの考え方が使えるかもしれないよ。

○考える・学び合う

【友達の考え方が分かりやすくなるように書き込みをする児童】



【友達の考えを説明する児童】

○児童は数直線を使って課題解決していた。

○計算で求めた数値が何を表しているのか，数直線や式を根拠にして説明していた。

時間と道のりのどちらをそろえても，比べられるね。

○学び合う　【拡張】

時間や道のりをそろえることについて考えさせ，どちらの考えも単位量あたりの大きさの考え方で比べている事に気付かせた。また，速さの比べ方を，混み具合の考え方と比較し，単位量あたりの考え方として統合的に捉えてまとめた。

速さも混み具合と同じように単位量あたりの考え方を使えば比べられるね。

○まとめ

速さを比べるには，単位量あたり大きさの考え方を使えばよい。

○適用問題・振り返り

適用問題は，学んだことが理解に結びついているか確かめることができるように，２頭の動物の速さを数直線と式と言葉で説明させた。授業後の振り返りには，他教科や日常生活で単位量あたりの考え方が使える場面について記述させた。

単位量あたりの考え方で，動物の速さについても比べることができた。

単位量あたりの考え方は，様々なものの条件を揃えて比べるのに使えそう。